



九州合唱コンクール

一昨日23日(土)は、九州合唱コンクールに、帯西合唱部が出場しました。熊本県立劇場で大会は行われ、九州各県から29団体が出場しました。夏休み中に行われた県大会では、帯西合唱部は、堂々一位通過の金賞で九州大会に出場し、これまで歌声に磨きをかけました。大会パンフレットには「合唱を通して、仲間と繋がり合い、高め合っていきたいと思っています。今、世界では戦争が起き、悲しいことに多くの犠牲者が出ています。私たちは自由曲で、愛と平和を願い歌います。私たちが望めば、もっとすてきな世界にできると信じています。聴いてくださる方々と想いを分かち合えるように、心を込めて歌います。」と合唱部の紹介が掲載されていました。その紹介通り、「わたしが呼吸するとき」の合唱では、「喜び 悲しみ 全てが愛おしい 空に向かって言おう 私たち この世界を平和にだってできる あなたが望めば本当になる 私が望めば本当にできる 愛と平和 あなたと私」とその歌詞の意味と世界観をかみしめる様に歌い上げ、その歌声は会場を魅了しました。子供たちはステージの上で、生き生きとした表情で歌い、ステージを降りてくる姿からは、全力を出し切った様子が伺えました。子供たちの頑張りに誇らしい気分になりましたし、子供たちの成長に携わって頂いた、保護者・先生方に感謝することができる大会となりました。



校則～「おしゃれトラブル」に気を付けて～

昨年度の「わくわく通信 NO.87」に掲載した「校則について」では、「本校では、あれはダメ、これはダメという校則より、**子供たちの安心・安全面を重視したもの**を『きまり』として表しています。さらに、子供たちの話合いによって様々なことが学級・学校文化を創るために合意形成され、『わくわくする』学校の実現を目指しています。」と掲載しました。ただ、この安心・安全面について配慮される事項全てを校則には載せていません。ただ以下のことは、子供たちの成長を阻害する恐れがあるので、学校としては認められません。

表題の「おしゃれトラブル」と言うのは、**化粧やヘアカラー、ピアス、カラーコンタクトレンズなどの装飾品**などを身に付け「おしゃれ」することによって引き起こされるさまざまなトラブルのことで、その多くがかぶれやアレルギーなど皮膚に表れます。東京皮膚科医会の岡村氏によると「成長期の子供たちの体は、未完成なだけに繊細です。特に人体の大部分を占める皮膚はトラブルを起こしやすく、アレルギー反応を起こすと、再びアレルギー反応を起こす可能性があり、一生治ることのないかもしれない怖いトラブルになる危険性があります。特に、小学生から中・高生の思春期にかけては、皮膚が柔らかくて乾燥しやすく傷つきやすく、さらに肌質が変わりやすい時期のため、とても刺激を受けやすくなっています。」ということです。これらのことから、ご家庭のご理解・ご協力によって、**社会通念上合理的かという視点も併せて**、子供たちにとって安心・安全なきまりにしたいと思います。

